

1 研究題目

腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析

2 研究の対象

研究倫理委員会承認後から2025年12月31日のあいだに受診した炎症性腸疾患の診断が確定している患者

3 研究目的

炎症性腸疾患と診断された患者の便を採取し、腸内細菌叢を解析し、血液検査、CT、内視鏡所見などの各評価項目に対して検討を行い、炎症性腸疾患の細菌叢の解析をすることで、病態との関与を解明する。

特定の腸内細菌の増減が原因として同定されることはなく、さらなる検討が必要とされている。

この研究は岡山大学病院との共同研究で既に岡山大学病院で承認されている研究である。

4 研究期間

研究倫理委員会承認後～2026年3月30日

5 研究に用いる試料・情報の種類

便、医療情報(病歴、血液検査、CT、MRI、内視鏡、治療経過、病理)

6 研究責任者

医師 森藤 由記